

ふるさと体験活動公民館支援事業(継続)

■現 状

【子ども】

- いじめ、ひきこもり、体力の低下、不登校等の問題
- 人間関係形成能力、コミュニケーション能力、規範意識等の低下

【地 域】

- 希薄な人間関係と大人の体験不足
- 地域住民によるふるさとへの理解が不十分

■課 題

【子ども】

- 直接体験の提供（体を動かす体験、自然体験、生活体験）
- 豊かな人間関係づくり（家族・地域住民と関わる機会の充実）

【地 域】

- 青少年教育に対する地域住民の積極的な協力
- 地域住民同士の間関係づくりと豊かな体験

ふるさと体験活動で子どもが変わる！地域が変わる！

事業概要

子どもたちが、島根の人や自然と深く関わり、ふるさとの中で行う体験活動を通して、地域への愛着や貢献意識を高めるとともに、公民館等が地域住民の協力を得て長期の宿泊を伴う体験活動を行うことで地域を担う人づくりを推進

【事業内容】

○公民館の募集（長期・短期各5館程度）

新たに長期宿泊体験活動を始める公民館等。または内容を再構築する、宿泊数を増やすなどの活動の充実を図る公民館等

長期（3泊4日以上） 上限@200千円×5箇所程度

短期（3泊未満） 上限@100千円×5箇所程度

※公民館等は長期または短期を選択して応募

※計画書、予算書をもとに、ヒアリングを経て採択館を選定

○活動の推進

- ・ふるさとの人や自然といった地域資源を活用した取組
- ・地域にある諸団体との連携や組織作りなど、地域住民を巻き込むための工夫

※事業の推進にあたっては、各市町村の派遣社会教育主事、及び青少年社会教育施設の社会教育主事が支援

○事業成果の発表

- ・体験活動フォーラムにおいて、取組内容を広く県内に周知
- ・H28～H30の実践をまとめ、事例集を作成（H30年度）

体験活動の例と期待される成果

◇地域の自然に親しむ体験を十分に取り入れる

◇地域住民との交流を中心としたプログラム

◇地域の生活・文化を取り入れた体験

◇農林水産業に関する体験や従事する人々との交流

地域住民や様々な団体の参画・支援

キャンプ

通学合宿

民泊

子ども

- 地域への関心・愛着の高まり
- コミュニケーション力の向上
- 自己有用感の高まり
- 達成感・満足感

地域

地域住民のふるさと理解

地域住民のつながりの深まり

若者による地域参画の増加

地域で子どもを育てる意識の醸成

地域住民の自己有用感の高まり

モデル実施した体験活動を普及啓発活動を通じて全県へ波及